

保育おおさか

No. 425

平成 23 年 1 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/>

あけまして

おめでとーございます



写真… 四条保育園、せつつ保育園、くすの木保育園、エンゼル保育園

「新システム」の行方を注視 保育に市場原理は大いなる疑問

保育部会長 永野 治男



今年の干支は兎！「新システム」の行方がびよんびよん跳ねて、空中分解も視野に入れて動きを注視する必要があります。元々自民党政権下からの懸案事項で、国としての重要案件と民主党政権下でもとらまえて現在の3つのワーキングチームができています。

あの大阪地検特捜部の証拠改ざん隠蔽を暴いた事務局長の特命チームが来年度に先取りの施策を打ち出す模様。私は保育を市場原理にすることに大反対である！崇高な人づくりの場を大金を掛けたテレビCMや値引き競争をする事業者が、特に重要な人的配置がどこまでできるのか、大いなる疑問である。配慮を必要とする児や、障がいを持

つ児も引き受けるのだろうか？

20数年前に全米で1000園を運営し配当も出す会社の施設を見たが、自園調理を基本とする我が国の食文化の違いからか、子どもの給食が私には、まさにエサと見えた。一事が万事と

まずは子どもありき

子どもの利益が優先される施策こそ

保育士会会長 大西 潤子



昨年より少子化対策、待機児童解消、そして子育てママの就労支援、これら子育て支援の名のもとに、制度が変わろうとしていきます。こども園（仮称）に移行するという保育所を中心にした大きな変革です。幼保一体化と多様な事業

見たのは私一人ではなかったのでは。

利益をあげなければならぬ会社として、いかに利益追求するか？経産省がワーキングチームに人を送り込み、産業化を進める手立てか？本来の経済振興に力を注ぐべき役所が！

年頭からのばやきになってしまいましたが、正念場の年になることには間違いない。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

社会全体で子育て家庭を支え「子育て支援日本」めざす

大阪府子ども室室長 田中 進

昨年は、国におきまして、「子ども・子育て新システム」の制度案要綱が閣議決定され、平成23年通常国会への法案提出を目指し、幼保一体化をはじめとする新たな保育制度に関する検討・議論がなされています。

子どもは、次代を担う社会の宝であり、このような子どもたちが、多くの温かい人に支えられながら、豊かな夢を持って成長することが社会全体の願いです。大阪府といたしまして

向上が求められています。研修時間の確保、経験豊かな保育が維持できるように保育士の待遇改善、就労支援も課題です。

制度改正後も、「子ども園」として、子どもたちとそこで働く者の笑顔が溢れる空間であってほしい。それが小学校教育に繋がればと思います。卯年、子どもの未来が明るく弾む一年になることを願います。

臨時総会・新年互礼会のお知らせ

保育部会臨時総会及び新年互礼会を開催します。

【日 付】 1月25日（火）

【場 所】 ホテル日航大阪5F「鶴の間」

【時 間】 ①臨時総会 17時30分～17時45分
②新年互礼会 18時～20時

【参加費】 5,000円

（当日受付にて集めさせていただきます）

また、新年互礼会にて、「地域貢献支援員（スマイルサポーター）」の大阪府知事認定証をお渡しする予定ですので、該当職員の出席につきましてもご配慮いただきますよう重ねてお願い申し上げます。詳細についてはすでに郵送にてご案内いたしております。

「子ども・未来プラン後期計画」に基づくよりよい保育実現へ

大阪府子育て支援課課長 荒井 大作

は、こうした認識のもと、国の動向も慎重に見極めながら、保育や社会全体で子育て家庭を支える取組みの充実など、「子育て支援日本1」の実現に向けた取り組みを進めてまいります。今後とも皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして、実り多き年となりますことを祈念いたします。

昨年11月に成立した国の補正予算におきまして、「安心こども基金」については、

額の積み増しと実施期間の延長等がなされることになりました。大阪府におきましては、昨年3月に策定した「子ども・未来プラン後期計画」に基づき、皆様方の協力を得て、保育サービスの充実等を推進してまいりましたが、引き続き、この基金も有効に活用しながら、一層の取り組みを進めてまいります。

今後とも、皆様方と手を携え、子どもたちや保護者にとってよりよい保育が実現できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

「目配り」「気配り」「思いやり」を 念頭に人材育成

22年度府外園長研修会



講演する有田修三氏

ガス元バッテリーコーチでプロ野球解説者の有田修三氏が「プロ野球コーチから見た人材育成」をテーマに講演。

11月30日、大阪市内よりバスで甲子園球場を訪れ、新しくなった甲子園球場の裏側と甲子園歴史館を見学しました。その後、大阪市内のホテルで、阪神タイ

有田氏はコーチ時代を振り返り、常に「目配り」「気配り」「思いやり」を念頭に人材育成に取り組んでいたことについて述べました。特に最近、思いやりのない自己中心的な人が多いと感じる中、若い選手たちには練習時の身だしなみ、スパイク磨きなど、物を大切にする気持ちから育むよう毎日指導されていたそうです。



阪神甲子園球場前にて

また選手たちの身体的、精神的サポート面も考慮し、毎日、各選手とノート交換をされていた。そのやりとりの中で、選手たちの文章力を高めるために



有田氏からプレゼント！

誤字・脱字指導もしていたそうです。野球選手であれ、保育士であれ、社会人として必要な知識、姿勢に共通する点があるということを変更して認識しました。

また、参加者の多くが指導する立場であることを挙げ、指導力についても話されました。その人の長所・短所を把握する観察力、洞察力の必要性や褒めて育てること、叱ってもいいが、怒らないこと、怒らない育て方について、自身の経験を踏まえながら強調されました。

応援パレード、リズムカルに熱演

1800人が参加した
第36回民間社会福祉施設従事者体育祭

「応援」をテーマとして、31人の保育士が乙女チックな衣装に包まれ、華麗なバトントワリングを披露しました。デイズニーの曲「ケイシージュニア」にあわせて、クルクルと軽快に舞い上がるバトン。曲のイメージからくる「気持ちの高まり」と「勇気」を感じ、ダンスは、体育祭に相応しいパフォーマンズで、参加者へのエールとなつて届いているようでした。

演する保育士の笑顔がとても印象的でした。「応援パレード」の結果は優勝の2文字。華麗なるダンスが審判員のハートをギュッと捕らえたのでしよう。そして、全ての競技を終え、得点を重ねた結果、府保育はみごと「優勝旗」を今年も手に入れることができました。

(編集委員Y・N)



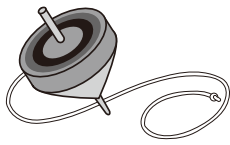
春から秋にかけてコーチの指導を受けながら基礎練習を積み重ね、バトンのテクニクと曲に合わせた振り付けを徐々に構成しながら取り組んできました。保育士の気持ちをひとつにして練習してきた成果が見事に花開きました。「府保育がんばれ!!」のメッセージを込めて、リズムカルに熱

また、甲子園球場にちなみ、自身の高校時代からプロ野球入団までの道のりも踏まえて、安易な気持ちでは夢を成し遂げることはできないこと、「今の子ども

たちに打ち込める夢をもってもらいたい」と、明日を担う子どもたちに大きな期待を寄せられました。講演会の終わりには、読売ジャイアンツの原辰徳監

督のサイン入り色紙が、有田氏から2人の参加者に贈呈されました。予想外の嬉しいサプライズに会場が沸く一幕もありました。

(美加の台保育園Y・K)



ブロックからの年賀状



正確な情報を察知していち早く伝えたい

北摂ブロック保育部会 武内 慎吾

幼保一体化を目指した子ども・子育て新システム会議の議論も、ここに来て迷走の感があるなか、子ども手当の財源をめぐる保育所運営費の一般財源化が浮上したり、全国知事会の構造改革特区共

子どもたちの発達保障、養護と教育が一体となった保育を、今一度足元を固め、誇りを持って進めることが大切です。うさぎのように正確な情報をいち早く察知できるように、またそれを会員の皆様にお伝えできるよう努めます。本年もよろしく願います。

子どもたち中心の制度改革に向けて

北大阪ブロック会 亀井 信昭

昨年は、北大阪ブロック会30周年記念事業を関係所管・諸先生方のお力添えにより挙行、無事終えることができ、心より感謝申し上げます。子どもたちを中心にし

30周年を機に、改めて各保育園の存在意義を確かめ合い、その役割を十分に理解し、初心を忘れず、今まで以上の組織力・団結力を持ち、この先40周年・50周年と引き継がれていくように、力強く邁進して参ります。

子どもたちの未来に何が必要かの視点堅持

河内ブロック会 高山 昌弘

内政・外交共に現政権の迷走ぶりが際立っていた昨年でした。多くの期待を寄せた政権交代だっただけに、残念な思いがしてなりません。特に我々に関係の深いこども園構

ともあれ、現政権がどう迷走をしようとも、我々は常に、子どもたちの未来のために何が大事なのか、何をなすべきなのか、その視点を見失うことなく、日々の保育に精進していきたいものです。今年も河内ブロックの仲間をどうぞよろしく願います。

子どもたちの健全な成長を第一義に

南大阪ブロック民間保育園連盟 中島 一

昨年は「子ども・子育て新システム」や「保育所運営費一般財源化」に関する情報に右往左往させられ、先行きに不安感を残す一年となりました。また、ブロックでは、新体制が2年目に入り、

ある体制へと成長できたことに感謝いたします。今年は、政治や経済状況に左右されることなく、子どもたちの健全な成長を第一義とした保育制度確立に向けて、保育部会活動に協力していきたいと思っておりますので、本年もよろしく願います。

行政と協力し待機児童の解消を

堺市民間保育園連盟 池尾 弘久

昨年は、民主党政権が、幼保一体化に向け子ども「子育て・新システム会議」を立ち上げましたが、突然5案が出てきたり、迷走が続いています。堺市では、分園、新設

国の制度が変わっても、保育園から援助を必要とする乳幼児はなくなりません。私たちの仕事は、世の中に必要とされています。今年も堺市と協力し、待機児童解消、地域の子どもの健やかな成長に努力をしてまいります。

子どもたちに多彩な体験と知識を

泉州民間保育協議会 田中 正清

昨年、沖縄一泊研修で、戦争体験を風化させないための「1フィート運動」について講演を聴きました。この運動は「ひとり1フィート（100円分）のカンパで、アメリカの国立公文書館など

さんの体験やいろいろな知識を学ばせ、しっかりと考えた考えや判断ができるよう教育することの重要性を改めて知る研修となり、たいへん勉強になりました。今年もブロック一同、頑張っ参りますので、よろしくお願い申し上げます。

開放的な雰囲気を大切にした 地域コミュニティの場

保育に音楽指導とりこむ
保護者にも食育の意識高める

松原市

岡町学園



大好きなドラえもんといっしょ

地域との関わりを強めつつ、保育園の機能

定まっています。

地域コミュニティの場として、保育園がより多くの人たちに利用していただくために、来年度からは毎月第2土曜の園庭開放も予定されています。

をどう活用していくか、今後の大きな課題であり方向性でもあるとのことでした。
(編集委員H・M)

松 原市南部の住宅街にある岡町学園は、昭和35年に財団法人により設立、平成11年からは社会福祉法人として運営されている定員120人の保育園です。

開園当初、特に3歳未満の待機児童が多い地域であったことから、園舎の改築を重ね、部屋の間取りや用具の位置を工夫して受入れ体制を整えてこられました。

また、保護者が育児相談で気軽に事務所を訪ねられるように、開放的な雰囲気づくりに努めておられます。

音楽の指導にも力を入れておられ、本格的な楽器も揃い、充実した保育ができる環境です。地域の人たちにも参加してもらえようという音楽祭の開催も企画されています。



保育園を
たずねて

418



「R 阪和線東貝塚駅近くに位置するまーぶる保育園は、平成20年4月に90人定員で開園。園舎の隣には貝塚市歴史展示館があり、あの歴史に残る東京オリピックの金メダルなどが展示されています。館内には緑豊かな市民庭園があり、散歩に出かけて花を見たり、虫取りなどもされているそうです。また、バレーボール日本代表を育成するJVA貝塚ナショナルトレーニングセンターも近くにあり、横を通ると選手たちの練習する

声は聞こえ、その声にパワーをもらっていると園長先生はおっしゃいます。園児たちはとても人なつっこく、道行く人に「こんにちは！」と声を掛け、次第に地域の方々と仲良くなり、今では立ち止まってお話をしていけるおじいさんやおばあさんも少なくないそうで、微笑ましい光景が思い浮かびます。

「ひとりひとりを大切に」を心がける日々の保育。日課を崩さずいつも決まった環境をつくり、子どもたち一人ひとりが安心した生活がおくれるように配慮されています。子育て支援の一環として、就学前の地域の子どもたち

を対象にした「まーぶる広場」を開き、アンパンマンパンやクッキーなど親子で手作りクッキングを楽しんでおられるそうです。

保護者も参加する野球大会では参加人数も多く、お父さんが場外ホームランを打って子どもたちが大喜びすることもあったそうです。



お外でのびのび、楽しいな！

マールチョコのように明るく
多彩な思い出つくる

一人ひとりが見通しを持って
日課にとりこむ保育

貝塚市

まーぶる保育園

北摂

「揺るがない組織」
「つくり」に重要なこと

北摂ブロック保育部会
研修会・懇親会

11月29日に千里阪急ホテルで開催された研修会は、日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフの小倉勉氏を講師に迎え「揺る

がない組織をつくるための「コーチング」と題したお話から始まりました。2010ワールドカップ南アフリカ大会とアジア競技会広州大会の選手やスタッフの様子をユーモアを交えながら、「揺るがない組織」づくりに重要なのはチームワーク・エンジョイ・アドバイス。1人くらい適当にしていってもわからないとい



小倉 勉氏

う気持ちを持たせないこと、楽しむ力や失敗を乗り越える気持ちを持たせること、的確なタイミングでアドバイスすること、またその情熱こそが大事であると述べられました。感動的なワールドカップの映像も紹介され、より結束力のある

組織を作るための多くのヒントをいただきました。次に、地域貢献事業推進委員会の熊井茂治委員長が「保育園における地域貢献事業」について講演。社会福祉事業への市場原理導入が進む中で社会福祉法人の存在意義が問われている現状や各市における「スマイルサポーター」の配置状況に触れ、地域貢献事業の重要性を強調されました。また、大阪府福祉部子育て支援課課長の荒井大作氏

河内

自然幼稚園（もりのようちえん）を訪ねる

―大阪府私立保育会主任研修会

11月11日〜12日、愛知県

長久手町自然幼稚園（もりのようちえん）を訪問しました。広大な敷地の山の中に幼稚園・老人ホーム・専門学校・料理屋があり、雑木林を暮らした座標軸にした「ゴジカラ村」という、時間に追われない人びとの暮らし。自然の中で四季を楽しむながら、自然の面白さや楽しさを五感で感じて育ってくれるよう3・4・5歳児の縦割り保育がログハウスで行われています。ルールを理解し約束さえ守れば自由が認められることを子どもたちは身に付けています。遊具も玩具もな



緑に囲まれた素敵な園舎

いが、自然が遊び道具。笑顔で山の中を動き回る子どもたち、子どもの想像力を最大に活用した保育。ひと工夫でこんなに豊かな暮らし方ができるのだと感じました。「無用と思われることにも大切なものがある。ゆっくりとした暮らしの中で、子どもたちと一緒に学んでいきたい」という吉田一平理事長先生のお話。2日目は、フィットネスインストラクターの早川久子氏を講師に招き、呼吸・身体・精神の調和を基本とする呼吸法で体全体のバランスを整える「健美操」を体験。音楽に呼吸と動きを合わせ気分を爽快にしてくれます。学びと遊びを経験し、新たなエネルギーを吸収しました。（編集委員Y・N）

旬

四年に一度の旬！ 統一地方選挙

おせち、雑煮、七草粥、テレビ漬けの正月…

正月は日本の伝統的慣習が顕著に現れる。先ず「おせち」。娘たちに母から伝えられた伝統の品々（普通のモノ？）を大晦日に家族総出で作る。次に雑煮。元日は白味噌、2日は澄まし、3日は焼き雑煮、そして七草粥、15日小豆粥…と続く。中でも焼き雑煮に柚子皮と餅の焦げたが香りがたまらなく食をそる好物。

正月には自家製のえび・豆・きび餅などを、小さな炭火コンロできつね色になるまで少し焦げ目を付けて、割り醤油を刷毛で塗ると、いつしか誰かの手が忍び寄る。炭火にはから消し（廃材を焼却する際に作る）その道具も自作が便利で、一

になると、冷蔵庫が気になってくる。睨み鯛の頭と骨で昆布を敷いて、湯豆腐に。年末購入物、お歳暮の頂き物も早よう片付けないと、悪うなってくる。また、正月はテレビ漬け！に。今面白い番組は朝ドラと関

トップされる畏れがあるそう。さて、今年は4年に1回の旬！統一地方選挙があり、我々に理解のある方々の当選を願う。知事や国政選挙となるとマスコミが激しく報道するため投票率は上がる、特に新興住宅地

(H・N)